

# Kuuki



市民と市政をつなぐ情報紙

広報くき

3

2024 (令和6年)  
No.276

# 最先端!

これが令和の

く久喜の教育く

▲青毛小学校での探究的な学びの授業風景  
グループごとに分かれ、決めたテーマに  
対し、協力して解決を目指すこどもたち

**清久小**  
6年 いしかわゆきさん  
石川優菜さん  
静岡県との交流やプロの方からの指導など、いつもワクワクしながら学ぶことができました!

**太田小**  
5年 須賀夕貴さん  
須賀夕貴さん  
来年の5年生のためになったらいいと思い、キャンプファイヤー集会の企画に取り組みました。結果として、楽しんでくれてよかったです。

**久喜小**  
6年 大砂紘人さん  
大砂紘人さん  
皆で意見交流しながら探究活動を行い、新しい形の「自分たちの久喜小の鼓笛」をつくりあげることができました。

**青毛小**  
6年 にしだみつぎさん  
西田光希さん  
野菜の皮などを土に混ぜました。畑に植えた植物が、どう成長するか楽しみです。

**青葉小**  
6年 金子優菜さん  
金子優菜さん  
実際に働いている方の話が聞け、将来について考えることができました。学びの多い授業でした。

**本町小**  
5年 千葉悠さん  
千葉悠さん  
割れにくいしゃぼん玉をつくるにはガムシロップが最も有効でした。学校でできない学習を自分で進められて良かったです。

**江面小**  
6年 内田翔さん  
内田翔さん  
バトルキッズの時間でみんなで質問を考えることで友だちとの団結力を深めることができました。

**久喜北小**  
4年 高橋未来翔さん  
高橋未来翔さん  
絶滅危惧種が増えないようにするために考えた方法を、生活に生かしていきたいです。

**久喜東小**  
4年 関根柊人さん  
関根柊人さん  
地域のバリアフリーを探したり、友だちと協力してバリアフリーマップを作ったりするのが楽しかったです。

**久喜南中**  
2年 田中琴葉さん  
田中琴葉さん  
特別支援学校の生徒と時間を重ねる毎に少しずつ気持ちが通じ合い楽しく過ごせました。

**久喜中**  
1年 広任優羽さん  
広任優羽さん  
見方・考え方が異なるので誰にとっても分かりやすく伝えることの難しさを学びました。

**太東中**  
1年 小松奈々さん  
小松奈々さん  
やりがいをもって仕事をしていることを知ることができ、それが大切だと感じました。

**久喜東中**  
3年 佐々木優斗さん  
佐々木優斗さん  
「地域につながるまちづくり」の学習を深める中で、久喜市との違いや取り入れたほうが良い部分について知ることができました。

こどもたちに  
探究的な  
学びの感想  
を聞きました!

**久喜地区**

これが令和の**最先端!**  
~久喜の教育~

ICT教育やSTEAM教育、GIGAスクール構想など、さまざまな教育の在り方が広がる中、新たに『授業時数特例校制度』が誕生し、学校独自の授業を行えるようになりました。各校や地域の特色を生かした授業で、こどもたちの教育はさらに進んでいきます。

進化する教育

オンライン授業や一人一台端末を活用した学びなど、令和を生きたこどもたちの教育は進化し続けています。そのような中、一人ひとりまたはグループでの興味関心を広げながら、テーマに沿って学びにことごと向き合う「探究的な学び」へ授業を変えていくことが求められています。探究的な学びとは「物事の本質を探つて見極めようとする一連の知的営み」であり、自ら課題を設定し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を繰り返し返していく学びの在り方です。

特例校の指定

市では、この制度をいち早く活用し、運用が始まった令和4年度から

「探究的な学び」をより充実させるため、文部科学省では新たな仕組みである、「授業時数特例校制度」を令和4年度に創設しました。これにより、学校による裁量の幅が広がり、各校の特色に合わせた、より効果的な教育を実施できることが期待されています。

Interview



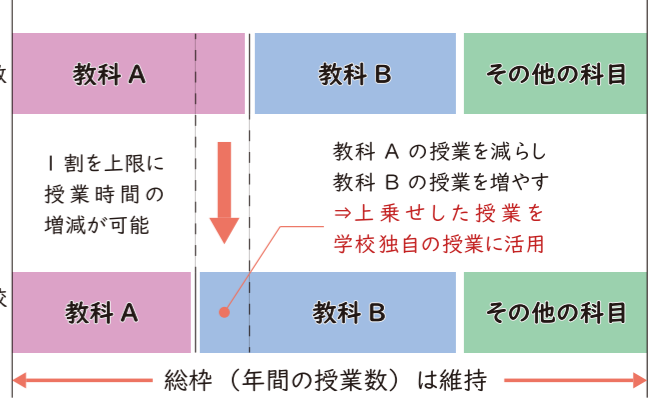
中村学園大学  
教育学部教授  
山本朋弘さん

これからの社会において、自ら考え行動して生き抜くこどもたちを育てるためには、自ら設定した課題を探究的に解決して、**学びの愉しさ**を体感できることが必要です。久喜市が取り組んでいる探究学習やSTEAM教育は、まさにこどもたちが学びの愉しさを体感できる授業であるといえます。

授業時数特例校制度？

全体の授業時間は維持したまま、決められた教科の中で授業数を増減させ、独自の授業を行うことができる制度。

学校裁量の幅が拡大され、各校・各地域の特色を活かした特別な教育課程を実施できる。



※文部科学省の資料を基に作成

## ICTアワード受賞

受賞について柿沼教育長からコメントをいただきました。

今年度、久喜市では文部科学省「授業時数特例校制度」に全校が指定を受け、クラウド活用を基盤とした探究的な学びが各学校で展開されています。久喜市のICT教育の柱である「久喜市版未来の教室」実現への取り組みが評価され、この度、第6回日本ICT教育アワードにおいて「経済産業大臣賞」を受賞しました。大変光栄なことです。

今回の受賞は、各学校の先生方の努力と保護者の皆様のご協力、そして何よりも子どもたちの学びの力の結果です。今後も関係の皆様と綿密に連携し、誰一人取り残さない教育の実現を目指してまいります。



※受賞の詳細はフォトニュース(21ページ)へ

あなたの**もっか**で  
学校を支援しませんか

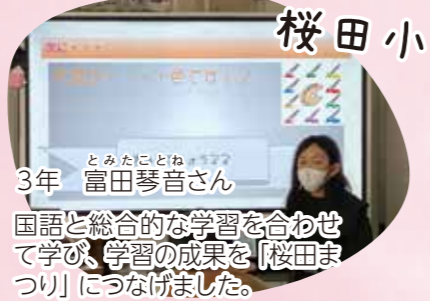
見守りするよ!

こんなこと  
教えられます!

こんなアイデアが  
あるんだけど...

ご協力いただける方は指導課またはお近くの小中学校へご相談ください。

☎ 指導課 (☎ 内線350)



桜田小

3年 富田琴音さん

国語と総合的な学習を合わせて学び、学習の成果を「桜田まつり」につなげました。

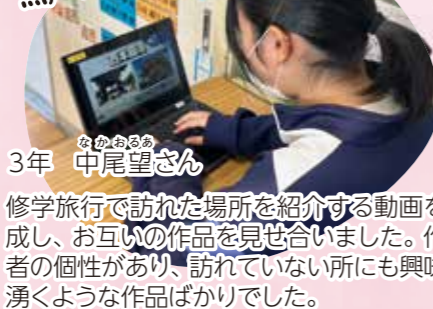
東 鷲宮小



3年 持田千佳さん

みかんの木は、余分な実を落として、元気な実に栄養を届けていることを知り、みかんのひみつに驚きました。

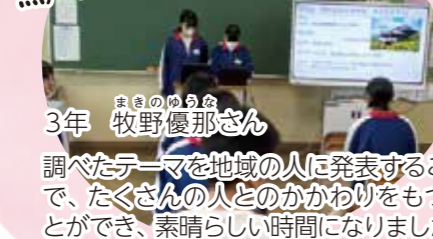
鷲宮東中



3年 中尾望さん

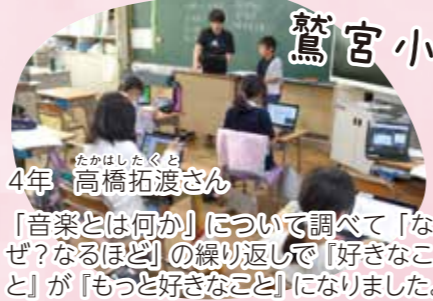
修学旅行で訪れた場所を紹介する動画を作成し、お互いの作品を見せ合いました。作成者の個性があり、訪れていない所にも興味を湧くような作品ばかりでした。

鷲宮西中



3年 牧野優那さん

調べたテーマを地域の人に発表することで、たくさんの人とのかかわりをもつことができ、素晴らしい時間になりました。



鷲宮小

4年 高橋拓渡さん

「音楽とは何か」について調べて「なぜ?なるほど」の繰り返しで「好きなこと」が「もっと好きなこと」になりました。

6年 大野希さん

動く、楽しむ、切り拓くを合言葉に、市民の「健幸」のためにイベントを開催しました!



砂原小



鷲宮中

1年 藤井乃々華さん

動画作成の時間では、自分の意見をわかりやすく伝える方法を学ぶことが出来ました。今後は、より正確にわかりやすく伝えられるような工夫をしていきたいと思いました。

## 鷲宮地区



三箇小

6年 来須歩夢さん

世界の環境問題や人権に関することなど新しい課題に、どんどん目を向けていくことができ、やりがいを感じています。

2年 中里羽菜さん

将来に向けた職業調べ学習で学んだことをいかして、目標を達成していく楽しさを学びました。



菖蒲中



栗橋小

6年 佐々木凱成さん

栗橋の文化や歴史を学び、皆が笑顔で安心して暮らせる街づくりをしたいと思います。

## 栗橋地区



小林小

6年 森田裕生さん

ささらの歴史は興味深く、知れば知るほど面白いです。継承されていくことを祈ります。

5年 大庭花さん

心拍数を測りながらスロージョギングに取り組み、持久力を高めることができました。



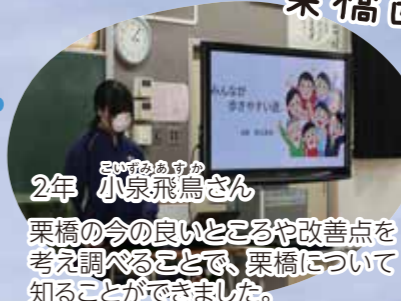
菖蒲東小



栗橋南小

5年 大橋音優さん

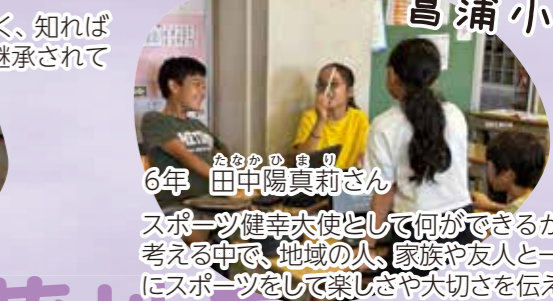
クレープを作り、そこで出た疑問点をお店に伺いお聞きし、改善する楽しさを知りました。



栗橋西中

2年 小泉飛鳥さん

栗橋の今の良いところや改善点を考え調べることで、栗橋について知ることができました。



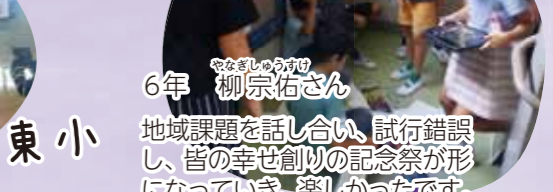
菖蒲小

6年 田中陽真莉さん

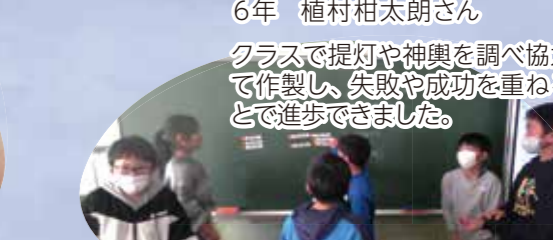
スポーツ健康大使として何が出来るかを考える中で、地域の人、家族や友人と一緒にスポーツをして楽しさや大切さを伝えていきたいと思いました。

5年 大庭花さん

地域課題を話し合い、試行錯誤し、皆の幸せ創りの記念祭が形になっていき、楽しかったです。



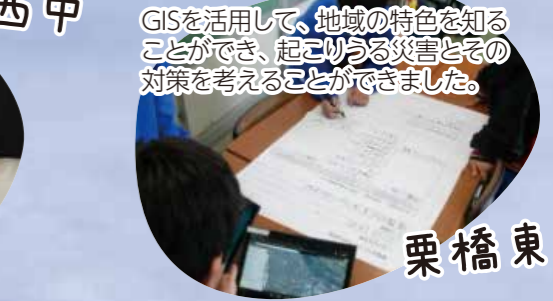
6年 柳宗佑さん



栗橋西小

6年 植村柑太郎さん

クラスで提灯や神輿を調べ協力して作製し、失敗や成功を重ねることで進歩できました。



栗橋東中

1年 島崎結仁さん

GISを活用して、地域の特色を知ることができ、起こりうる災害とその対策を考えることができました。

いろいろなことを自分たちで成し遂げた経験、頑張った瞬間、つなげた縁を大事にして、これからも地域に恩返しをしたいと思います。



▲菖蒲パーキングエリアに飾られたペットボトルキャップアート

ーキングで、こどもたちから全国に交通安全を発信できたらいいと思います、学校に提案したら快く受けてくれたんです。当日の啓発ティッシュ配りでは、こどもたちも慣れてくると進んで利用者に話しかけていて、楽しそうに取り組みこどもたちのあどけない笑顔は最高でした。こどもたちには、大きくなって辛いことがあっても、

こどもたちが開校150周年記念祭のためにペットボトルキャップを集めているのを知り、たまたま寄った菖蒲パーキングで清掃の方がごみの分別をしているのを見かけ、キャップをもらえないか声をかけたんです。そしたら、NEXCO東日本の方に話をつないでくれて、たくさんキャップをもらえることになりました。こどもたちが記念祭でキャップアートを創り、想いを形にすることができたんですよ。嬉しかったですね。

さらに、ご縁が繋がった菖蒲パ

### Interview



栢間小で活動された岡田清さん

地域の活力を学びへ  
こどもたちの豊かな成長のためには、学校の中だけでなく、地域とのかかわりの中で活動し学ぶことも大切です。地域から教わる、地域とともに考え交流することで、こどもたちのさらなる成長が期待できます。また、地域の方もそのような活動に参加することで、達成感や充実感を得られると思います。実際に、学校とともに活動された地域の方にお話を伺いました。